



2022年7月20日

日本コカ・コーラ株式会社

北海道コカ・コーラボトリング株式会社

みちのくコカ・コーラボトリング株式会社

コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社

北陸コカ・コーラボトリング株式会社

沖縄コカ・コーラボトリング株式会社

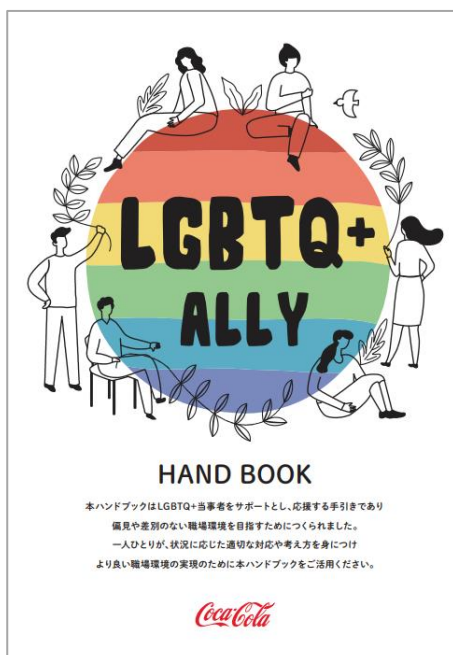
日本のコカ・コーラシステム全6社にて 「LGBTQ+アライのためのハンドブック」導入、無償公開 ～多様な人材が、ともに働きやすい環境の整備を目指す～

日本コカ・コーラ株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:ホルヘ・ガルドウニョ)と、全国5社のボトリング会社等で構成されるコカ・コーラシステムは、「多様性の尊重」に関する取り組みの一環として、「LGBTQ+アライのためのハンドブック※」を策定し、一斉導入しました。今後、全国約2万人の日本のコカ・コーラシステムの従業員に配布される予定です。また本ハンドブックは日本コカ・コーラ 企業ウェブサイトでも全内容を公開しています。LGBTQ+への理解促進を検討するあらゆる企業・団体の皆様は、無償でご活用いただけます。

企業ウェブサイト PC : <https://reg.cocacola.co.jp/op/CCPARK/3540-2oc-app/>

(簡単なアンケートを回答頂いた後に、冊子のダウンロードができます)

※アライは、「同盟」や「味方」などを意味する英語「ally」が語源で、自分自身が性的マイノリティであるかどうかによらず、積極的にLGBTQ+を理解し、サポートする人を指します。





日本のコカ・コーラシステムでは、サステナビリティフレームワークの一つに「多様性の尊重 (Inclusion)」を掲げ、「ジェンダー」「年齢/世代」「障がい者支援」「LGBTQ」の分野において各種取り組みを推進しています。なかでも「LGBTQ」においては、昨年5月にシステム全6社において、戸籍上同性のパートナーにも対応した福利厚生および就業規則の整備を完了しています。

性を構成する要素

性的あり方(Lesbianやゲイやトランスジェンダー)は、主に以下の要素で成り立っています。

身体的特徴 身体的特徴は遺伝的、身体的特徴、文化的特徴などにも左右されることがあります。	性的指向 性的指向は性的指向の傾向や性的指向の強さによって異なり、性的指向は流動的である場合があります。
性自認 性的指向とは異なる場合があります。性的指向とは異なる場合があります。	性別表現 性別表現は性別の役割や性別の役割をどのように表現するかによって異なり、性別表現は流動的である場合があります。

LGBTQ+とは

LGBTQ+とは、レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー、クエスチョニング/クワアの略称を合わせた言葉で、性的マイノリティを指す用語の一つです。この他にもさまざまな言葉があり、性的あり方は多様です。

※「LGBTQ+」は、L(レズビアン)、G(ゲイ)、B(バイセクシュアル)、T(トランスジェンダー)、Q(クエスチョニング)の略称を合わせた言葉です。

- L Lesbian (レズビアン)**
女性同士の間で恋愛関係をもつ女性の人
- G Gay (ゲイ)**
男性同士の間で恋愛関係をもつ男性の人
- B Bisexual (バイセクシュアル)**
恋愛対象が女性にも男性にもあついている人
- T Transgender (トランスジェンダー)**
性別の役割や性別を決定しない、または異なった性別を表現している人
- Q Questioning (クエスチョニング)**
性的指向や性別を決定しない、または決めていない人
- Other (オア)**
性的指向や性別を決定しない、性的マイノリティを指す用語

※「LGBTQ+」は、L(レズビアン)、G(ゲイ)、B(バイセクシュアル)、T(トランスジェンダー)、Q(クエスチョニング)の略称を合わせた言葉です。

LGBTQ+に関するデータ

性的マイノリティの人は私たちの家族、友人、同僚、顧客などとして、共に暮らしています。様々な調査から、性的マイノリティの割合は人口の約10%程度と考えられています。

調査名	調査結果
LGBTQ+に関する意識調査 ¹⁾	9%
LGBTQ+行動意識調査2019 ²⁾	約13.0%
LGBTQ+調査2020 ³⁾	6.9%

職場に当事者が「いない」?

本人が「言わない・言えない」だけ、周りが「気づいていない」だけかもしれません。

職場でカミングアウトしている人の割合は、レズビアン6.6%、ゲイ5.9%、バイセクシュアル7.3%、トランスジェンダー15.3%、LGBTQ+調査2020³⁾

一方、企業側では、社内LGBTQ+の当事者が「いない」と思う割合が41.4%、「わからない」が29.9%と「認知/理解でのLGBTQ+の存在を認識していません」⁴⁾

※1) 2019年10月実施の調査
※2) 2019年10月実施の調査
※3) 2020年10月実施の調査
※4) 2020年10月実施の調査

私たちに必要なこと、出来ること

性的あり方は多様であることを理解する
性別や関係性を決めつけるような表現を避ける

悪気がなかったとしても差別的と受け取られたり、嫌がられることがあります。

結婚しないの? 結婚/恋愛関係ないの? あの子はいい子になる? 女の子はいい子になる? 女の子はいい子になる? 女の子はいい子になる?

悪意的に響かない表現の例
レズビアン、ゲイ、トランスジェンダー、クエスチョニング

性別を決めつけない表現の例
彼氏、彼女、夫、妻、恋人、パートナー、つれあい、男らしい/女らしい、〇〇らしい

カミングアウトされたら?

カミングアウトは勝手に推測して打ち明ける行為です。カミングアウトされた際は、その人の意思を受け止め、寄り添うことが大切です。

カミングアウトされたら、その人の意思を受け止め、寄り添うことが大切です。

カミングアウトされたら、その人の意思を受け止め、寄り添うことが大切です。

アウティングに注意

アウティングとは、本人の同意なく、本人が公にしていない性的あり方を他人に話すことです。悪意の(意図しない)行動であっても、本人の了承なく他人に伝えることはアウティングの被害です。本人を精神的に苦しめ、また職場にもある程度被害に及ぼす可能性があります。

アウティングは、本人の同意なく、本人が公にしていない性的あり方を他人に話すことです。悪意の(意図しない)行動であっても、本人の了承なく他人に伝えることはアウティングの被害です。本人を精神的に苦しめ、また職場にもある程度被害に及ぼす可能性があります。

「LGBTQ+アライのためのハンドブック」コンテンツ

このたび制作した「LGBTQ+アライのためのハンドブック」は、日本コカ・コーラ株式会社 サステナビリティ推進部ならびに人事部と、5社のボトラー社が共同「プライドハウス東京」(日本初の大型総合LGBTQ+センター)の監修を受け制作したものです。LGBTQ+についての基本的な解説や、過去の歴史、世界と日本の同性婚などの状況、アライとして必要なこと、できることなどを、どなたにとってもわかりやすく平易な表現でまとめています。本ハンドブックを通じ、コカ・コーラシステムの従業員一人ひとりが多様な性のあり方を理解し、正しい知識を身につけ、状況に応じた適切な対応が取れるようにすることを目指します。

本ハンドブックは、すでにパナソニックグループでの導入が予定されています。日本コカ・コーラは今後、「プライドハウス東京」の協賛企業を中心に、様々な企業・団体での使用を呼び掛ける予定です。

日本コカ・コーラ株式会社の代表取締役社長であるホルヘ・ガルドゥニョは以下のように述べています。

「グローバルに展開するコカ・コーラ社の事業において、多様性を尊重し、受け入れることは最も基本的な姿勢であり、私たちのDNAとなっています。今回作成した『LGBTQ+アライのためのハンドブック』は、社員一人ひとりが尊重され、素晴らしい創造性と革新性を生み出せる職場環境を整える上で重要なツールになっています。グローバル企業として、社会に対する責任を意識し、ダイバーシティ・エクイティー&インクルージョンの課題に取り組んでいきたいと思います。」

■「多様性の尊重(Inclusion)」を推進する日本コカ・コーラ

日本のコカ・コーラシステムでは、「多様性の尊重 (Inclusion)」をサステナビリティ戦略における柱の一つとして掲げ、「ジェンダー」「年齢/世代」「障がい者支援」「LGBTQ」の4つの重点課



題に取り組んでいます。日本コカ・コーラでは、社員一人ひとりの個性を尊重し、多様な価値観やアイデアを積極的に取り入れています。「LGBTQ」については、性的マイノリティの社員に平等な機会を提供するため、2021年5月に同性パートナーの従業員の婚姻に対応した就業規則の改訂をコカ・コーラシステム全社で完了するなど、より働きやすい環境作り・意識改革を推進しています。2021年11月には、社内外向けの様々な活動が評価され、職場におけるLGBTQに関する取り組みを評価する「PRIDE 指標 2021」において、最高位であるゴールドを受賞しました。また2022年4月、LGBTQをはじめとする性的マイノリティが、差別や偏見にさらされることなく、より自分らしく、前向きに生きていくことができる社会の実現を目指す「東京レインボープライド」に協賛しました。

■コカ・コーラシステムのサステナビリティへの取り組みについて

日本コカ・コーラ株式会社と全国5社のボトリング会社などから構成されるコカ・コーラシステムは、「世界中をうるおし、さわやかさを提供すること。前向きな変化をもたらすこと。」の事業目的ののっとり、日本が直面する重要な課題に対し、ビジネスを通じて変化をもたらしながら、未来を共創していくことに責任を持って取り組みます。2020年には「多様性の尊重」「地域社会」「資源」の3つのプラットフォームと9つの重点課題を特定し、システム共通のサステナビリティフレームワークを策定しました。各領域において事業活動を通じて社会課題の解決を目指すことで、持続可能な開発目標(SDGs)の達成にも貢献してまいります。詳しい活動内容については、最新のESGレポートをご覧ください。

<https://www.cocacola.co.jp/sustainability>



■コカ・コーラシステムについて

コカ・コーラシステムは、ザ コカ・コーラ カンパニーの日本法人で、原液の供給と製品の企画開発をおこなう日本コカ・コーラと、全国5社のボトリング会社(コカ・コーラ ボトラーズジャパン、北海道コカ・コーラボトリング、みちのくコカ・コーラボトリング、北陸コカ・コーラボトリング、沖縄コカ・コーラボトリング)などで構成されています。コカ・コーラシステムが国内で取り扱う製品は50以上の炭酸飲料および非炭酸飲料ブランドにおよび、世界で最も高い評価を得ているブランドである「コカ・コーラ」をはじめ、「コカ・コーラ ゼロ」「コカ・コーラ ゼロカフェイン」「ファンタ」「スプライト」などのグローバル・ブランドのほか、「ジョージア」「アクエリアス」「い・ろ・は・す」「綾鷹」など、日本市場のために開発されたブランドが含まれます。コカ・コーラシステムは、持続可能な地域社会の構築を目指してたゆまぬ努力を重ねており、事業活動による環境負荷の削減、社員のための安全で開かれた職場環境の構築、事業を展開する地域社会における経済発展の促進といった取り組みに力を注いでいます。

【本件に関する報道関係者のお問い合わせ先】

日本コカ・コーラ株式会社サステナビリティ推進部 担当: 大林 TEL : 03-5466-8104

※テレワーク中につき、つながりにくい場合は担当者携帯(090-8646-2055)にお電話ください。